

事業所名		子どもサポートステーションふわふわきっず				支援プログラム(児童発達支援)		作成日		R 6	年	6	月	15	日
法人（事業所）理念		＊すべてのかたが、住み慣れた地域で人として大切にされ、安心したおうち生活を継続できるように支えます。													
支援方針		＊心身に発達のおくれや特性があるお子さまの育ちを支援します。 ＊ご家族の方が安心して子育てができるように支援します。 ＊地域の関連施設（幼稚園・保育園・学校等）への支援を行います。													
営業時間			9	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無		ありなし		
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	＊食事、排泄、着脱についてアセスメントを実施の上、各児童に応じた目標の立案を行い、目標に応じた支援を行います。また、目標は個別支援計画にて保護者にも周知を行い、ご家庭においても同様の支援をお願いすることで、児童の成長の強化を目指します。 ＊食事→必要に応じて、簡易の口腔機能評価を行います。 ＊利用時の健康状況は看護スタッフが把握を行います。感染症の流行時には、看護師が保護者宛に予防や注意喚起の文書を発行します。													
	運動・感覚	＊運動は粗大運動と巧緻運動に分け、アセスメントを行い、それぞれの力を伸ばすために課題の工夫を行います。 ＊日々の療育プログラムの中に運動や感覚の発達を促す内容を取り入れるようにします。 ＊感覚については、前庭覚・触覚・固有覚を中心に受容を確認し、適切な感覚を取り入れた課題の提供を行います。													
	認知・行動	＊アセスメントを行い、認知力の把握を行い、必要な自立課題を目標設定します。 ＊自立課題は、提供する適切な課題内容を検討し、段階的にできることが増えるよう支援を行います。 ＊行動のスケジュール化を明確にし、予測しやすく提供します。活動や行動を前もって知っておくことで、安心して行動ができるよう支援します。													
	言語 コミュニケーション	＊アセスメントを行い、発語力・言語理解力・コミュニケーション力などの把握を行い、必要な支援を検討します。 ＊児童の性格なども鑑みて、支援を行うことも必要だと考えています。 ＊遊びやふれあいの中で発生する「人と関わりたい気持ち」（コミュニケーション）を大切にし、発語を伸ばすことだけに捉われがちにならないように配慮します。													
	人間関係 社会性	＊大人（療育者）との信頼関係を築き、人と関わる楽しさを知り、周囲の子どもとの関わりへと広がるように支援します。 ＊小集団の中で、待つ、順番を守る、ルールを理解等の社会スキルなどを習得できるよう、視覚支援などを使い、丁寧に支援を行います。 ＊必要に応じて、幼児向けのソーシャルスキルトレーニングを取り入れていきます。													
家族支援		＊ご家族との連携をとり、ご家族の意向を理解するように努め、お子さまの日常生活や社会生活が円滑に営めるよう、情報提供や育児及び家族サポートを行います。							移行支援		＊移行先でのスタートがスムーズにできるよう、ご家族や移行先のご希望に応じて、情報を交換を行い、適切な継続支援に繋がるよう支援を行います。				
地域支援・地域連携		＊当事業所の利用児の母集団である福津市内の幼稚園や保育園等と連携し、児童の相互理解のために、園側へのフィードバックなどを行います。 ＊事業所近辺の住民の方へのご理解を得るために、挨拶などを積極的に交わすように心がけます。							職員の質の向上		＊福津市主催の研修、県や県社協、保健福祉振興財団主催の研修などに年1回は参加するように推奨しています。 ＊経験豊富なスタッフが講師となり、園内研修にて専門性を高める工夫を行います。				
主な行事等		＊夏の事業所内の庭でのプールあそび、近隣の公園への散歩、年長児に向けての療育終了のメダル渡しなど。													